

○事業所名	放課後等デイサービス かなで		
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日	～	令和7年1月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日	～	令和7年3月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い空間や個室、庭や近隣施設を活用し、伸び伸びと活動できる環境を作っています。	集団での活動や身体を動かす活動の時には広い支援室を使用します。また、静かに過ごしたい時や集中したい時には個室を使用しています。夏には庭で水遊び、野菜作りやシャボン玉、生き物探し等、自然に触れ四季を感じることで感性を豊かに育みます。近隣の公園や漁港のお祭りに出向き、地域との繋がりを持っています。	施設内の空間を更に有効活用できるよう、子どもたち一人ひとりに配慮した設営を行います。また、庭の整備を行い、安全に戶外活動ができるようにします。
2	同じ施設内に生活介護が併設されていることで、異年齢との関わりや集団での活動が行えています。また、将来の見通しを持つことができます。	合同の開所日には放デイ、生活介護で楽しめるイベント(運動会・ポッチャ大会・日帰り旅行等)を開催することで、異年齢との交流を持ち、関わりの幅を広げています。また、必要に応じて、長期休暇時など生活介護の活動に参加し、学齢期後の見通しを持ち、次のライフステージへスムーズに移行できるようにしています。	今後は、更に交流の深めることのできるようなイベントを立案していきたいと思っています。
3	さまざまな活動を通し、自己決定・選択の機会を多く設けています。	個別・集団での活動の中で、一人ひとりに合った方法で何かを選択することができるようにしています。少しずつでも自分の思いや要求を他者に伝えることで、人との関わりを楽しむきっかけになったり、適切な伝え方ができるようになっています。	今まで以上に伝えやすくなるよう、ツールの拡大や、楽しみながら伝えられる活動の立案を行います。「もっと伝えたい」と思っていたら、子どもたちの思いに寄り添った支援を行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の皆さまの交流の場を作っていませんでした。	社会情勢等で開催できませんでしたが、今後は定期的に開催していきたいと思っています。	今秋ころ、西ぼっぴご〜んクラブと合同で、親子で楽しみながら交流できるイベントと合わせてペアレントトレーニングの場を計画しております。詳細につきましては決まり次第お示しいたします。
2	各関係機関との情報共有の不足を感じています。	連携を取ることが難しい学校や関係機関があります。こちらから、どのようなアプローチをしたらよいか模索していた状況が続きました。	研修会にて、学校との連携の回り方について学ぶ機会がありました。是非、実践し、統一した支援を行えるようにしていきたいと思っています。また、学校以外の関係機関とも連携し、情報の共有ができるよう、顔の見える関係づくりを行っていきたいと思っています。
3	地域交流が不足していると感じています。	感染症の影響で、地域イベントが中止となり、いまだ再開されていない状況が続いています。また、近隣の保育園と繋がりを持つことはできたのですが、交流するまでには至っていません。	地域の方々にもお声がけができるようなイベントの開催を考えています。近隣の保育園とのイベントやお互いの行事への参加を考えています。